

# ほけんだより

いきいき健康推進課 TEL0175-28-5800



## ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒が流行しています。

ノロウイルスは冬に流行し、感染力は極めて強力です。手指や食品などを介して経口で感染し、人間の腸内で増殖し、嘔吐や下痢、腹痛などを起こします。便や嘔吐物として体外に出た後も、その威力はなかなか衰えません。抵抗力の弱い子供やお年寄り、重症化することがあるため、十分注意が必要です。

### ノロウイルス予防4か条



**食品対策**

生ものを食べるのを極力避け、85℃で1分以上加熱調理しましょう。



**手洗い**

ウイルスを洗い流すため、調理の前後、トイレやおむつ交換した後は、必ず石鹸でしっかり手を洗いましょう。



**衛生管理**

調理器具の使用後は、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）に浸して殺菌しましょう。



**汚物処理**

嘔吐物・ふん便処理をする時は、マスクとプラスチック手袋を着用し、周りを汚染させないようにしましょう。

## ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンについて

東通村では、平成22年12月9日接種分より、ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種の費用を全額助成しています。

### ヒブワクチン

<予防できる病気> ヘモフィルスインフルエンザ菌b型（ヒブ）という細菌が原因となる肺炎や喉頭蓋炎、ヒブ髄膜炎を予防するために接種します。ヒブ髄膜炎は、生後3ヶ月から5歳になるまでの子どもに多く、特に2歳未満のお子さんに最も多いので、注意が必要です。

<副反応> 接種部位の赤みや腫れのほか発熱がありますが、数日以内に消失します。

| 接種開始年齢       | 回数 |
|--------------|----|
| 生後2ヶ月～7ヶ月未満  | 4回 |
| 生後7ヶ月～12ヶ月未満 | 3回 |
| 1歳～4歳        | 1回 |

### 小児用肺炎球菌ワクチン

<予防できる病気> 肺炎球菌による細菌性髄膜炎や菌血症、肺炎や肺炎球菌が原因の中耳炎などを予防するために接種します。

<副反応> 発熱や接種部位の腫れなどで、起こる頻度は他のワクチンと同じ程度です。

| 接種開始年齢     | 回数 |
|------------|----|
| 生後2ヶ月～6ヶ月  | 4回 |
| 生後7ヶ月～11ヶ月 | 3回 |
| 1歳         | 2回 |
| 2歳～4歳      | 1回 |

\*これらのワクチンは、接種を受ける法律上の努力義務はありませんが希望すれば医療機関で接種できる予防接種(任意接種)です。